

令和6年度（2024年度）
社会福祉法人 いなほ福祉会
法人事業報告書

1. 法人の概要

(1) 法人の名称 社会福祉法人いなほ福祉会
法人認可年月日 平成10年8月18日
法人設立年月日 平成10年8月24日

(2) 主たる事務所
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町中里575
電話 0735-57-0334
FAX 0735-57-0335

(3) 従たる事務所
和歌山県新宮市佐野954-3
電話 0735-29-6125
FAX 0735-29-6126

(4) 実施事業

事業所名	事業種別	定員
いなほ作業所	就労継続支援B型	40名
いなほ作業所中里出張所	就労継続支援B型	
いなほ作業所下里出張所	就労継続支援B型	
いなほ作業所太地出張所	就労継続支援B型	
ワークショップゆう	就労継続支援B型 生活介護	20名
平見ハイツ	共同生活援助	10名
通園くじら	児童発達支援センター	20名
通園めだか	児童発達支援センター	24名
通園らっこ	児童発達支援	10名
放デイほたる	放課後等デイサービス	10名
	定員合計	134名

2. いなほ福祉会が「めざすもの」〔基本理念〕

ア、障がいのある人および発達のみならずのある子どもを主人公とし、「生活」「労働」「遊び」等をとおして、一人ひとりの豊かな発達と社会的自立をめざします。

イ、障がい児・者福祉の拠点として、障がいのある人および発達のみならずのある子どもとその家族の願いにもとづき、安心して生活が送れるよう福祉事業の整備と機能の充実をめざします。

ウ、地域との相互理解を深めながら、共に暮らしていける地域社会をめざします。

エ、関係者の総意にもとづき、民主的な運営・経営を行います。

3. 役員・評議員 体制

理事（6名）	監事（2名）	評議員（7名）
理事長 細野 建治	尾玉 幸夫	河原 啓太
生熊 映	岡本 俊樹	山本 まち子
下口公未佳		森岡 一朗
羽山 早穂		間所 寛夫
谷中 達夫		和田 司
川口 詠史		山崎 留美
		堀口 壽弘

4. 理事会・評議員会の開催、並びに監事監査の実施

【監事監査】

開催日	出席数	監事出席の有無	
5月26日	理事 3名	2名	法人運営監査 計算書類の監査

【理事会】

開催日	出席数	監事出席の有無	決議事項
6月7日 【第1回】	5名 (欠席1)	2名	第1号議案 理事長の業務執行状況報告について 第2号議案 令和5年度 事業報告について 第3号議案 令和5年度 決算報告について 第4号議案 令和5年度 監事監査報告について 第5号議案 社会福祉充実残額について 第6号議案 「ワークショップゆう」の移転整備の準備について 第7号議案 令和6年度定時評議員会の日時、場所、並びに議題について 第8号議案 その他
7月26日 【第2回】	6名	1名	第1号議案 「ワークショップゆう」新築工事のスケジュール並びに資金計画等について 第2号議案 その他
8月28日 【第3回】	6名	2名	第1号議案 「ワークショップゆう」新築工事の入札結果並びに工事請負契約締結について 第2号議案 福祉・医療機構からの融資並びにこつなぎ融資について
12月6日 【第4回】	6名	1名 (欠席1)	第1号議案 理事長の業務執行状況報告について 第2号議案 令和6年度 第1次補正予算(案)について 第3号議案 「ワークショップゆう」新築工事について 第4号議案 和歌山県による実地指導について 「ワークショップゆう」「通園くら」の運営指導結果 第5号議案 積立金の取り崩しについて 「いなほ作業所」送迎車両の購入、「ワークショップゆう」備品整備 第6号議案 その他 いなほ講演会解散時の残余金をワークショップゆうの整備に充てる件について
3月21日 【第5回】	6名	2名	第1号議案 理事長の業務執行状況報告について 第2号議案 令和6年度 第2次補正予算(案)について 第3号議案 令和7年度 事業計画(案)について 第4号議案 令和7年度予算(案)について 第5号議案 「ワークショップゆう」施設整備について 第6号議案 定款変更について 第7号議案 「管理者の選任」について 第8号議案 評議員会(臨時)の開催について 第9号議案 その他

【評議員会】

開催日	出席数	監事出席の有無	決議事項
6月23日 令和6年度 定時評議員会	評議員 6名 理事 3名	監事 2名	第1号議案 令和5年度 事業報告について 第2号議案 令和5年度 決算報告について 第3号議案 令和5年度 監事監査報告について 第4号議案 社会福祉充実残額について 第5号議案 「ワークショップゆう」移転整備の準備について 第6号議案 その他
3月23日 令和6年度 臨時評議員会	評議員 5名 (欠席2名) 理事 3名	監事 1名	第1号議案 令和6年度 最終補正予算について 第2号議案 令和7年度 事業計画について 第3号議案 令和7年度 予算について 第4号議案 「ワークショップゆう」施設備計画について 第5号議案 定款変更について 第6号議案 監事の選任について 第7号議案 その他

4. 法人の借入金償還実績（元金均等毎月償還 175回）

※返済終了 2029（令和11年11月）

借入先	当初借入額	当期償還額	借入残額	備考
福祉・医療機構	30,000,000	2,142,839	9,576,000	平見ハイツ建設資金

5. 法人の本部事業〔重点的取組み課題〕の取組の報告

- (1) 利用者と家族の願いを実現させるため「ワークショップゆう」（法人事務センター含む）の移転整備をすすめます。

令和3年度の後半より、「ワークショップゆう」の移転新築に向けた用地捜しが始まった。

平成21年11月から新宮市佐野地区で元電子工場の建屋を20年の賃貸で借り受け契約から12年経過していた。借受け時に地主の許可のもと、一部改装を行い事業をすすめてきたものの、障害のある利用者には、作業や生活を送るには決して使いやすい環境ではなく、建物自体の面積も広くないため、20名を超える頃より、これ以上利用希望者を受け入れることは困難と判断し、利用希望者をお断りしてきた経緯

があった。

将来を考え、障害のある人たちの働きやすい環境の整備と、「ワークショップゆう」を利用したい人たちの受入を実現するためには、法人自ら新施設を建設する必要があるとの判断で、理事会承認のもと建設用地探しを始めた。

建設用地探しでは、紆余曲折を経て、現在の宇久井で比較的安価で、ハザードマップや土砂災害の危険性のない建設場所として購入を行った。

和歌山県との国庫補助協議を行い、すぐには建設費補助が下りないものと考えつつも、必要な準備を前倒しですすめてきたところ、令和6年度当初予算で内示が下りることとなり、令和6年度内の建設となり、入札や諸手続きを行い、令和7年3月10日に建設を無事に終えることができた。

建設用地探しから、建設完了まで4年の歳月をかけることとなったが、障害のある人たちの新たな拠点として、力量を発揮してくれるものと期待したい。

(2) 法人運営、経営の次世代を担う人材育成の強化に取り組みます。

道半ばの課題であるが、令和6年度には、いなほ福祉会のビジョンの検討に入っている。

いなほ福祉会が大切にしてきたこと、利用者の満足度や、人材の育成、今後必要な事業、広報等々の多岐に渡り、これまでの活動を振り返りながら整理が必要と言える。

中核にいる管理者たちは、人材確保やこれまで大事にしてきた実践の考え方など、これからの若い人材にどのように伝承し育成していくのか、強い問題意識を抱き始めている。

単に、内外部の研修を実施するだけでは、個々の職員の力量が上がるとは考えられず、研修の在り方や力量の底上げには相当のエネルギーを割く必要がある。

これまで、「通園めだか」を中心に三重県の志村先生のスーパーバイズを令和7年度より成人分野にもお願いし、利用者支援での様々な課題に志村先生から学ぶことが多く、こうした研修をきっかけに職員の問題意識を高め、利用児者への支援の充実と満足度を高めたいものとする。

(3) 法人並びに各種事業が将来に渡って安定かつ継続的に運営・経営できる在り方の検討をすすめます。

3年に一度実施される報酬改定。令和6年度の報酬改定により、就労継続支援B型、児童発達支援など、報酬が増額となり経営面での安定を図ることができた。

一方、「ワークショップゆう」の施設建設では、物価高騰のあおりを受け過去に見ない事業量となり大きな出費となったが、報酬改定により法人全体での収支のマイナスは、思いのほか少ない額で収めることができた。

経営安定を図るためには、利用児者を増やしていくことが必須であるが、しかし「いなほ作業所」では、ここ数年利用者希望者が無い状況が続いている。製パンを中心とした就

労部門に対する敬遠があるのか。作業所自体のアピール不足が原因なのかはわからないが、その原因についても詳細に分析し対策が必要と言える。

「ワークショップゆう」は、生活介護事業を併設した多機能型になったことで、収入の安定をはかることができている。

人口減少と少子化による影響は、当地方では今後ますます大きくなることは間違いなく、そのための必要な対策を行って行くことが求められる。

方針に沿った、十分な対策をとることはできなかった。

(4) 災害対策を始めとしたBCP（業務継続計画）に基づく訓練等を実施し、より実効性のある計画となるよう取り組みます。

事業所単位で年間通して避難訓練等は実施してきているものの、実際に災害が起きたときに想定される長期間に渡る避難となると想定されにくいところがある。

BCP（業務継続計画）が実行性のなるものにするためには、さらなる訓練の実施が必要である。

(5) 法人職員研修会を実施します。

法人主催による、研修は計画どおりに実施することができました。

令和6年5月2日	志村浩二先生 (浜松学院大学短期大学部教授) 臨床心理士・公認心理士	コミュニケーションの苦手な子どもたち・ こだわりの強い子どもたち ー自閉症スペクトラム症 (ASD) の視点からー
令和6年6月29日	仲さより (放デイほたる) 岡本恵子 (平見ハイツ)	虐待防止・人権擁護伝達研修
令和6年9月19日	藤社祐樹氏 汐見一希氏 (那智勝浦町役場 総務課 防災対策室)	防災教育と業務継続計画の周知
令和6年11月20日	一井愛里子氏 (セブン・ドリーム・グループ)	接遇研修

